



教育支援チーム「まつ」

「まつ」通信 No.7

## Cafeまつぼっくりの可能性

—先生の居場所・子どもの居場所—

2013年4月24日発行

新学期が始まりました。この新学期は、広田・小友・米崎の三中学校が統合し「高田東中学校」として、気仙・長部の二小学校が統合し「気仙小学校」として開校し、先生たちも子どもたちも大きな変化の中でのスタートとなっています。「Cafeまつぼっくり」は、10月のオープン以来、毎週土曜日、日曜日を先生たちの居場所として開放していますが、利用が少ないのが現状です。しかし毎月の理事会では、学校統合のこともあって先生方の不安やストレスが無いわけではなく、「先生が息抜きできる場所」の必要性は依然としてなくなっていないことが議論されています。そこで、先生たちが利用するのを単に待つだけではなく、先生たちの学習の機会を設けて来て頂こうと考えました。

はじめての「学習講演会」は、2月22日（金）の午後6時半から、東京理科大学（当時）の清水陸美先生を講師にお招きし、「震災と教育—外から見えること—」と題して開催しました。清水先生は、震災直後からNPO法人教育支援グループ Ed.ベンチャーの一員として陸前高田市の学校支援に関わり、教育社会学者として本市の教育を研究されています。その立場から、都市部の学校と陸前高田市の田舎の学校での子どもたちの人間関係の違いを、教室の中の「いじめ」の構造とを絡めて検討した上で、統合後の学校での子どもたちの人間関係や不安感についてお話して頂きました。参加者は7名、そのうち市内の小学校の先生と中学校の先生がお一人ずつと決して多くはありませんでしたが、学校統合に絡めた時事的な内容であったこと、都市部の学校との比較からこの地域の学校や子どもたちの人間関係を見るという新しい視点について考える事ができ、「まつ」にとってもよい学習の機会となりました。このような学習会は今後も開催予定です。



「先生たちの居場所」としての場所の整備も少しずつ進み、1月には簡易図書館として左の写真のようにユニットハウスを設置し、3月には書棚が入りました。図書はまだまだ少ないですが、先生向けの教育関連の本や雑誌、陸前高田市に関係する震災関連図書を購入しました。図書については随時増やし、リストを作成してどのような図書があるか分かるようにするつもりです。Cafeの外の広場でもくつろげるよう、広田湾が望める場所にベンチとテーブルも設置しました。ここからの眺望は是非一度見て頂きたいです。

「Cafeまつぼっくり」には、オープン以来、先生たちの他にも利用があります。2月には研究者の方のインタビューの場所として、3月には「すたんどばいみー」がモビリアでの子ども支援活動がきっかけで関係が続けている中学生との交流の場所として、また盛岡市のNPO関連の視察グループへの「まつ」の紹介のための場所として利用がありました。そして、度々来てくれる「小さなお客様」がいます。近所に住む小学生姉妹が、時には友だちを連れてやって来て、本を読んだり、宿題をしていたりしています。この子どもたちにとっては、ここはすでに近所の「ちょっとした居場所」になっているようです。今後はここは、子どもたちの居場所にもなる可能性が広がりました。気候が暖かくなれば、外の広場で遊ぶことも出来るので、安全を考え、広場の周りに柵を設けるつもりです。

また、3月に簡易図書館用ユニットハウスの中に本棚を設置する際には、小友中（当時）の姉弟が設置を手伝いに来てくれました。とても一生懸命一緒に作業してくれたおかげで、大型の本棚6本はほんの2時間程度で完成させることができ大いに助かりました。お姉さんの方は4月から高校進学が決まっていたのですが、週末に都合がつく時にはCafeのお手伝いに来てくれることになりました。小学生たちから「優しい」と評判なので、「小さなお客様」の頼もしいお姉さんになってくれることと思います。

先生たちの居場所としてはもちろん、Cafe まつぼっくりは、子どもたちにも開かれたものとなりそうです。利用者はまだまだ少ないですが、たくさんの可能性が詰まった場所として、今年度も整備と運営の工夫を続けていきます。

+++++

### ■教育支援チーム「まつ」との出会い■ 教育支援チーム「まつ」 会計 及川久子

教育支援チーム「まつ」は東日本大震災後に陸前高田市の小中学校の子ども達の教育環境の復旧・整備に寄与することを目的として設立された市民団体です。さかのぼること一年五ヶ月、「まつ」が誕生したのです。私は用事で仮設の市役所に行った時、知り合いの先生から、「教育支援のお手伝いをしてくれる人を探しているのでやってみませんか。」と勧められたのです。具体的な仕事内容やメンバーなど分からないまま不安はありましたが、その先生から声をかけられたことで、やってみようという気になりました。

その後、数日が経ってモビリアのセンターハウスで、チームの初めての集まりがあり、NPO法人教育支援グループEd.ベンチャーの方達の音頭で、土台作りをして頂きました。また、メンバーは市内在住の教員を退職した四人が加わり、役割(事務局・会長・副会長・会計)とチームの名称「まつ」が決まりました。当初は頻りに集まりがありましたが、今では、月に一回定例の理事会が持たれています。

陸前高田市の被災した子ども達のために、Ed.ベンチャーの方達が遠路はるばる横浜から通ってくれ頑張ってくれていることには、本当に頭が下がりますし、地元にいる私たちも少しでも力になりたいと思っています。

二月二十二日夜、「まつ」主催で一回目の講演会を持ちました。市内の小中学校の先生達全員にお誘いのプリントをお配りしたのですが、行事があったりで集まりはよくありませんでした。それでも一回目のスタートが切れたということで、私たちは満足でした。

今後「まつ」への要望などありましたら、お気軽に事務局に知らせて頂ければ幸いです。

+++++

## Cafeまつぼっくり オープン時間 土・日 10:00~16:00

※必要に応じて平日も開所しますので、ご連絡ください。

教育支援チーム「まつ」事業時間 水～金（原則）10:00～16:00

- メインのサロンと和室が利用できます。
- パソコン、インターネット、プリンターが自由にお使い頂けます（無線LANあり）。
- 教育関連図書、震災関連図書、漫画などがあります。貸し出しもしています。
- 飲み物（コーヒー、緑茶、紅茶）は無料です。飲食物持ち込みOKです。

+++++

### 教育支援チーム「まつ」 ※事務所住所が変わりました

〒029-2207 陸前高田市小友町字茗荷147-23 Cafe まつぼっくり内  
Tel/Fax:0192-56-3325 e-mail: teammatsu01@gmail.com

寄付を募っています。ご協力をお願いします。

銀行名：東北労働金庫 支店名：高田支店 口座番号：普通 5903255  
口座名義：教育支援チーム「まつ」 代表 鈴木正彦  
(キョウイクシエンチームマツ ダイヒョウ スズキマサヒコ)